

第1回 LNG燃料の夜間・錨泊中のバンカリング実施に向けた検討委員会
議事概要（要約版）

委員会概要
【日 時】：令和5年12月20日(水) 午後1時30分～3時40分 【場 所】：経済産業省 別館 238 各省庁共用会議室
議事内容
○株式会社 日本海洋科学から説明 <ul style="list-style-type: none">・ 議題1 LNG燃料の夜間・錨泊中のバンカリング実施に向けた検討委員会の開催について・ 議題2 事業計画・ 議題3 検討課題の整理及び検討基本方針について・ 議題4 夜間及び錨泊船への接舷に係る操船シミュレータ実験の実施方針
○国立研究開発法人 海上・港湾・航空技術研究所 海上技術安全研究所から説明 <ul style="list-style-type: none">・ 議題5 錨泊船及びLNGバンカー船の2船間係留に係る水槽試験・解析の実施方針
○一般財団法人 日本海事協会から説明 <ul style="list-style-type: none">・ 議題6 緊急時対応の検討に係るリスク評価の実施方針
○主なご意見
➤ 事業計画 <ul style="list-style-type: none">・ 昼間との違いに基づく夜間でのバンカリング実施要件として、夜間の実施に向けたトライアルの実施可否および手法の検討についてトライアルを実際に行うにあたっての条件を検討するのか。
➤ 検討課題の整理及び検討基本方針について <ul style="list-style-type: none">・ 今後、夜間のShip to Ship方式によるバンカリングがどの程度行われるようになるのか、規模感等、第2回委員会でお示し頂きたい。・ 錨泊中におけるバンカリングの実施可否の検討について、接舷条件に定められている風速、波高、視程等の条件は、実際の運用時にはどのように計測し、どのような値を用いるのか、明らかにして頂きたい。・ 荷役中・夜間のLNG漏洩に備えた安全対策について、マニホールド間のホース・アームの監視等を確保する照明照度が70lx以上とされているが、この根拠は何か。SIGTTO (The Society of International Gas Tanker and Terminal Operators) のガイドラインでは、100lxと記載されている。・ SIGTTOのRecommendations for Liquefied Gas Carrier Manifolds(2018年度版)に、6.2 Manifold Area Illuminationという項目があり、同項に100lxという記載がある。2018年以降に100lxになったようであり、それ以前は70lxであったように伺っている。・ バンカリングホースの接続作業が日中しか認められていない港もある点を勘案すると、ホースハ

ンドリングの検討も必要ではないか。

- ・ 夜間におけるバンカリングの実施可否の検討について、今回の検討対象船以外の船へのバンカリング要望が事業者から挙げた場合、検討方法、手順について今回の検討で方向性を示すのか。
- ・ 夜間及び錨泊中におけるバンカリングの実施可否の検討の結果、実施できないという結果もあるのか。「実施可否の検討」ではなく「実施要件の検討」であれば記載を修正してはいかかか。

➤ その他

- ・ 昼間との違いに基づく夜間での実施要件の検討において、実際作業員がヘッドライト等を常備し作業していることからそのような対策についても記載すれば、防災面で役立つ夜間作業の実施要件になるのではないか。